



平成30年9月26日

## ～イボについて～

院長 三和 拓人

暑い夏が過ぎて涼しい毎日ですが、連日雨続きで変な天気ですね。こういった季節の変わり目で体調崩される方が多いです。くれぐれもご自愛ください。さて、今月はイボについて述べていきたいと思います。

イボは非常に一般的な病気です。様々なイボの種類がありますが、特に多いのがこの2つのイボの種類です。

じんじょうせい ゆうぜい

尋常性疣贅

原因

症状

治療

➤ ヒト乳頭腫ウイルス(human papillomavirus : HPV)2型や57型など

➤ 手足の指に出現する角化性の小丘疹

➤ 足底に出現する場合は歩行で痛みを伴う場合も

➤ 液体窒素による凍結療法

➤ 他ヨクイニン内服、活性型Vit.D3外用、レーザーによる削切、モノクロロ酢酸外用など





Q.イボはうつりますか?

はい、うつります。左図にあるように荒れた皮膚からウイルスが侵入します。一つのイボがどんどん広がるのはそのためです。

ただし、ウイルスに対する抗体ができるとうつりません。大人にこのイボが出来にくいのはこの理由です。

Q.予防法はありますか?

ヨクイニンはハトムギの種子を抽出したもので、免疫力アップにつながります。ハトムギ茶を飲み続けるといいかもしれません。

### ウィルス性疣贅が出来る仕組み

ウイルスは、皮膚の比較的深いところにある細胞に感染し、増殖して「いぼ」を形成します。

#### ウイルス性疣贅を発症した皮膚

- ① 皮膚の傷から入り込んだウイルスは、最初に基底細胞に感染する。
- ② 感染した細胞は分裂を繰り返して増殖する。
- ③ その後、増殖した細胞は、表面に近い角化細胞に感染する。
- ④ 感染した角化細胞が増殖します。(ウイルス性疣贅)

参考資料: 日本皮膚科学会

次に老人性疣贅です。こちらもよく見る病気です。

# 老人性疣贅(脂漏性角化症)

## 原因

- 加齢で肌の新陳代謝が衰えたり、長年に渡り紫外線を浴び続けることで、排除しきれないメラニンが少しずつ蓄積するために起こります

## 症状

- 顔面など日光の当たるところに多発します。ほくろと見分けがつきにくいですが、指で削るとポロポロかさぶたのようにとれるのが特徴です

## 治療

- 液体窒素による凍結療法
- 他レーザーで切除術、電気メスで焼灼術、外科的切除術等



黒褐色の  
盛り上がった  
イボ

Q.ガンの可能性は無いですか？

老人性疣贅自体にガンの可能性はないです。ですが、基底細胞癌、日光角化症、悪性黒色腫(メラノーマ)という皮膚癌と見た目が類似している場合が多いです。

また老人性疣贅が一気に増えると、内臓の癌を反映している場合もあります。

Q.予防法はありますか

- ◆ 紫外線を避ける事
- ◆ 保湿をする事
- ◆ Vit.C、Vit.Eの摂取等があります。

参考資料: 日本皮膚科学会

イボが当たったり増殖したりする際には痛みやかゆみを伴います。なるべく早めに治療したほうが治療期間も短く済んで賢明ですよ。

## 11月の臨時休診のおしらせ

	11/22 (木)	23 (金)	24 (土)	25 (日)	26 (月)
AM	○	×	×	×	○
PM	×	×	×	×	○

24日(土)は、院長が学会出席のためお休みです。ご了承ください。

医院：各務原市那加桜町2-368

Tel 383-6800

自宅：各務原市三井北町1-171

Tel 382-1437

三和皮フ科HP：<http://miwahifuka.org/>